

参加費無料

市民 公開講座

知られざる近江の医療史

-心学者・脇坂義堂と『丹毒療治相伝』-

知足大福神図
脇坂義堂(石学屋無能)画讃
—長野仁氏所蔵—

定員
100名



講師

森ノ宮医療大学大学院 教授・鍼灸鴻仁 院長

長野 仁

京滋間の難所、逢坂峠の車石の敷設に尽力した脇坂義堂先生は、日常の教訓や心得をまとめた施本に、病気や怪我の知識を盛り込んで人々の健康にも寄与しました。鍼した瞬間の放血で治癒を促す「刺絡」は、薬もなく医者もない場合の応急処置として、当時は民間で広く行われていました。もし丹毒（感染性皮膚炎）に罹ったなら、肘のツボから血を出せば治るぞ！こう力説する『丹毒療治相伝』を、心学者の義堂先生よりも前に無料配布した近江商人がいたとは!! 知られざる近江の医療史、ブラタモリ気分でお楽しみください。

開催日

2025年 **9/28** (日)

13:00～14:30 (受付12:30～)

会場

コラボしが21
3階大会議室

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜2-1

JR大津駅より徒歩20分

専用駐車場はございませんのでご注意ください



第33回日本刺絡学会学術大会事務局

〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4-1-8森ノ宮医療学園専門学校内

TEL 06-6976-6889

MEIL osaka-koshu@shirakugakkai.com

第33回学術大会の

ウェブサイトはこちら



https://shirakugakkai.com/academic_conference/



《学会》

日本医史学会（理事）
日本医史学会関西支部（理事）
東亜医学協会（理事）
日本伝統鍼灸学会（会員）

《受賞》

2007年 人文科学研究協会賞（京都大学）
2016年 東亜医学会賞（東亜医学協会）
2016年 青木賞（日本医科器械資料保存協会）
2022年 創立50周年記念賞（日本伝統鍼灸学会）

1968年埼玉県に生まれ、京都府の明治鍼灸大学（現・明治国際医療大学）鍼灸学部、同大学大学院修士課程を卒業。臨床面では1990年にはり師・きゅう師の免許を取得し、1998年に京都府南丹市で鍼灸鴻仁を開業、2000年に兵庫県神戸市灘区へ転院して現在に至る。研究面では同大学助手～オリエント出版社編集員～同大学非常勤講師を経て、2001年より森ノ宮医療学園はりきゅうミュージアム研究員（2014年まで）と北里大学東洋医学総合研究所客員研究員（2023年まで）を併任。2015年、森ノ宮医療大学大学院教授に就任して現在に至る。

日々の臨床とともに、近世日本鍼灸流派の流儀研究、日本腹診史の書誌研究、明堂図・銅人形の系統研究を精力的に続けている。

《活動》

2004～08年 多賀大社フォーラム（滋賀県犬上郡多賀町）主宰
2018年 第46回日本伝統鍼灸学会学術大会（大阪府茨木市）実行委員長
2018～21年 京都大学人文科学研究所・共同研究「日本鍼灸医療の形成」班長
2021年 第122回日本医史学会総会・学術大会（島根県松江市）会長
2026年 第54回日本伝統鍼灸学会学術大会（大阪府茨木市）実行委員長

《編著》

テレビ教材『癒やしのツボエクササイズ』 NHK出版 2004 単著
テレビ教材『癒やしのツボエクササイズⅡ』 NHK出版 2005 単著
絵本『はらのなかのはらっぱで』、フレーベル館、2006、監修・解説
図鑑『戦国時代のハラノムシ』、国書刊行会、2007、共著
論集『虫の知らせ』、ジェイキャスト、2007、共著
完全覆刻版『針聞書』、インターシャム、2018（解説本を編集集中）

※その他、
編著・論文・講演・
テレビ出演など、
多数につき省略

享和元年(1801)施本
『丹毒療治相伝』
—長野仁氏所蔵—

